

一般社団法人全国保健師教育機関協議会

# 委員会活動報告書

委員長名 西出 りつ子

<b>【委員会名】</b> 教育体制委員会	
<b>【メンバー】</b> ◎西出 りつ子(三重大学)、○和泉 京子(武庫川女子大学大学院)、佐藤 千賀子(秋田県立衛生看護学院)、白石 知子(中部大学)、菅原 京子(山形県立保健医療大学)、堀井 節子(京都光華女子大学)、¥水谷 真由美(三重大学)  50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、( )所属名	
<b>【活動方針】</b> 1. 大学院および大学専攻科等における上乗せ教育による指定規則に定める単位の読み替えなしの課程推進策を練る。 2. 保健師教育課程の質を保証する評価基準の検証を行う。	
<b>2021(令和3)年度</b>	
<b>達成目標</b>	1. 大学院および大学専攻科等における上乗せ教育による指定規則に定める単位の読み替えなしの課程を推進する活動を行う。 2. 保健師教育課程の質を保証する評価基準の見直しを行う。
<b>活動報告</b>	1. 大学院・大学専攻科等における上乗せ教育による指定規則に定める単位の読み替えなし課程の推進活動 1) 第36回全国保健師教育機関協議会夏季教員研修会において「大学院の設置に至るプロセスとカリキュラムの実際」をテーマに分科会を開催した。大学院課程を4月開始の3校(国・県・私立)の講師から大学院化に至るプロセス、カリキュラムの特徴等について話題提供、グループワークを経て上乗せ教育推進につながる要因と取り組みのあり方や具体策を意見交換した。分科会の詳細を「保健師教育」第6巻に事業報告として公表予定である。 2) 新型コロナウイルス感染症拡大の中、パンデミックに強い保健師養成に貢献可能な水準の高い教育の実際の提示を目的に、大学院修士課程17校と大学専攻科2校の会員校を対象に、8月、健康危機管理教育に関する緊急オンライン調査を実施した。回収率は57.9%であった。この結果は協議会から文部科学省への要望書の根拠の一部となった。「保健師教育」第6巻に事業報告として公表予定である。 3) 大学院化予定の会員校教員がもつ疑問の解消と不安の軽減を目的に、気軽な交流の場、情報・意見を交換できる場として「大学院化を予定する会員校のためのオンライン交流会」を企画、12月に開催した。大学院教育を担う情報提供者2名のご協力と5校7名の参加を得た。交流会の詳細を「保健師教育」第6巻に事業報告として公表予定である。 2. 保健師教育課程の質を保証する評価基準の見直し 1) 多様な教育課程の会員校が「自校の保健師教育の質保証に向けた課程評価に活用できる基準」とし、かつ指定規則改正を反映させることを改定方針と決定した。 2) 看護師・助産師評価基準との比較を通して保健師評価基準の特徴を確認、文献を参考に保健師教育評価の考え方と枠組みを検討、現行12基準を見直して新たな枠組み(委員会案:7基準)を決定した。 3) 評価基準活用者が同じ理解のもと評価できるよう、評価の意図を表す基準別解釈指針と項目修正の検討を進めている。